

伊形っ子



令和6年度学校だより1月号
1月14日発行
延岡市立伊形小学校 No19
文責：校長 甲斐憲一

新年明けまして おめでとうございます！

2025年、明けましておめでとうございます。今年は巳年ということで、ヘビは脱皮を繰り返すので「新たな自分に生まれ変わる」という意味を持ち、巳年は再スタートや変化のチャンスに恵まれる年とされています。世界でもアメリカでは大統領も再びトランプ氏に代わりますし、全世界で大きな変化が起こるのではないかと思っているところです。そんな状況ですが、子どもたちはいつも通り、寒い朝でしたが元気よく登校してきました。「おはようございます」、「明けましておめでとうございます」とあいさつもしてくれました。冬休みも大きな事故等もなく、1月7日にみんな元気に登校してくれたのでとても良かったです。保護者・地域の皆様、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



3学期始業式！

冬休みもあつという間に終わり、1月7日(火)は3学期の始業式でした。まず始めに3年生の「りさ」さんと6年生の「いつき」くんが3学期に頑張りたいことを発表しました。「りさ」さんは3学期に国語の文章問題をしっかりと読み取ること、外国語を話すこと、我慢強く頑張ることの3つの目標を掲げ、意識して頑張りたいと発表しました。6年生の「いつき」くんは英語も交えながら発表を行い、中学校へ向けて「中学校大作戦」と題して、集中力UP、コミュニケーションUP、幸動を心がけるという3つの目標で頑張りたいということを発表しました。二人とも堂々としていて、とてもすばらしかったです。

私はいつものように「幸動」について、旭化成の5年ぶりの駅伝日本一を例に挙げて話をしました。選手一人一人がチームのために日々練習をはじめ、いろいろなことに気を配りながら努力し、そして優勝を獲得することができたことも「幸動」であるという話をしました。私が子どもの頃には九州一周駅伝もあり、国道10号線沿いで旭化成の選手の応援をしたこともあり、その影響で私は小中学校時代、持久走の練習に励み、よく北川の堤防を走っていた記憶があります。地元の企業の活躍は子どもたちにスポーツの良さを感じさせるとともに地元を誇りに思う気持ちを育てると思います。このような活躍を通して、これからも「幸動」を意識してもらい、素晴らしい伊形小学校にしていってほしいと思います。



【堂々と意見発表をする二人】